

## 2016年度（48期生）サイエンスキャンプ

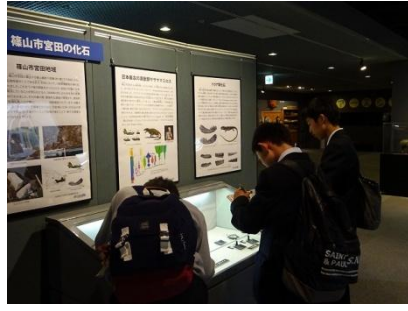
4月27日（水）～28日（木）に、1年生総合科学科（参加者121名）はサイエンスキャンプに行ってきました。

1日目は、まず学校からクラス毎バスで兵庫県立『人と自然の博物館』へ向かい、受講する2つの研修テーマの概要を聞きました。



その後、クラス毎にローテーションで「イカの解剖」、「チョコペタ（プチ箱庭づくり）」、「館内自由見学」をそれぞれ1時間ずつ行いました。「イカの解剖」は、初めは触ることを敬遠していた生徒が、次々に素手で解剖していくことができました。「チョコペタ」は自分がデザインする公園を、紙を切り貼りすることで表現し、グループ内でどのようなコンセプトで作ったかを発表しあいました。





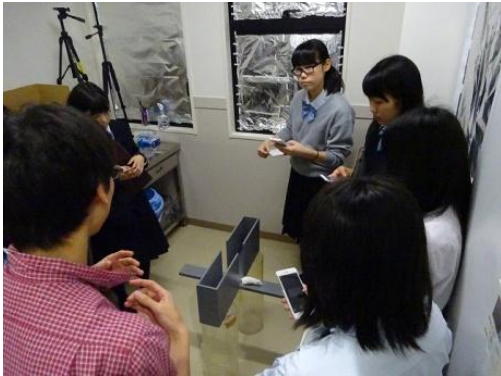
15時過ぎに研修を終え、バスで伊沢の里へ行き少し早い夕食をとりました。その後さらにバスで「西はりま天文台」へ行き、天文関係の研修を受けました。残念ながら天気が悪く、望遠鏡での観望はできませんでしたが、国内最大級の「なゆた望遠鏡」の実物を見学でき、さらに実際に動かしていただきました。今回観望できなかった分は、将来、生徒たちが自分でここに足を運んで、この望遠鏡で天体を観てもらえたらと思います。



2日目は、天文公園の食堂で朝食をとり、関西学院大学の三田キャンパスへ行きました。大学および理工学部の概要を説明していただきました。



その後、大学の食堂で各自自由に昼食をとり、午後はグループ毎に研究室で研修を受けたり、キャンパス見学を行ったりしました。ただ研修を行うだけでなく、その内容をグループ毎にまとめ、全員の前で発表しました。



この2日間で、科学の歴史や科学の最先端を見学でき、さらに3年後に多くの生徒が進むであろう「大学の雰囲気」を体験できたことはとても大きな収穫だったと思います。そして、まだ学校生活が一ヶ月に満たない仲間と寝食を共にすることで、親睦を深めることができたのではないかと思います。これから、いろいろな学校行事があります。それぞれに積極的に取り組む泉北生になってほしいと思います。